

特別扱い

雲南市立大東中学校 一年 森山結

皆さんが、【あの人は特別扱いされている】と思うのはどんな時ですか。

私には三つ上の姉がいます。姉は知的な遅れを伴う発達障害を持っています。障害にもレベルがあり、姉は重度、一人では意思疎通が出来ずいつも誰かが側にいないといけません。なので姉は養護学校に通っています。養護学校では、私たちと同じ様に漢字を覚えたり、計算をしたりしています。ですが学ぶ内容は少し違います。なぜなら、年齢は十五歳でも中身はその半分だからです。

私はそんな姉が嫌いでした。

私が小学生でまだ姉の障害をよく理解していなかった頃、私は姉が【特別扱いされている】と思っていました。

姉は私たちのものをよく取ります。興味のあるものが目に入ると、我慢ができないのです。逆らえばつねられたり嘸まれたりしていました。

私たち妹弟は皆タブレットやヘッドホンを持っています。大切に使っていますが、壊れたことが何度かあります。そんな時、姉は親に買ってもらい、私たちはお年玉やお小遣いで買わなければいけません。

他にも、してはいけない事をした時に、同じことをしていても、怒られるのは私達ばかりだと感じていました。私たち妹弟とは違い、何でも許されているような気がしていたのです。

ですが今は違います。姉への印象が変わりはじめたのは授業で障害について習ったときでした。それは、学校にいる障害を持った生徒の話でした。

その生徒も発達障害を持っており、言葉が他の人と違い聞き取りにくいとか、他の人より成長がゆっくりで、それを知っておいてください。ということでした。習ったことによって、姉の障害のことをもっと理解しようと思いはじめたのです。

我慢ができないのは障害の特性の一つなので、どうしても取られたくないものはきちんとしまっておくようにしました。

姉は、音楽を聴くことが大好きで、タブレットがあると落ち着いて過ごせます。身の回りの音がすべて同じ大きさに聞こえるので、大好きな音楽を聴くときはその音をとても大きくしなければいけません。なので、周りに迷惑をかけないためにもヘッドホンが必ず必要です。

教え方や伝え方にも工夫がいきり、【怒る】ということでは理解ができません。ネガティブな表現より、面白おかしく伝えた方がこちらの気持ちをすんなりと受け取ってくれます。

それを知り、姉への思いが少しずつ変わっていきました。私がずるいと思っていた特別扱いは、姉にとっては必要な特別扱いだったのです。

この頃から姉の良いところも見られるようになりました。

姉は記憶力が良く、一度通った道や、習った漢字をすぐに覚えます。私たち家族はよく「これで合ってる？」と姉に聞きます。

私たち妹弟が独り占めしてしまうようなおやつも、姉は皆に分けてくれます。

私の中で姉は、特別扱いされている姉ではなく、記憶力が良く物覚えが早い、賢くて優しい姉に変わっていきました。

最近姉も自分も考え方や人との接し方などが変わり、仲良くなりました。今でも特別扱いされてずるい、と思うことがありますが、仕方ないか、とも思えるようになりました。

私は、特別扱いは人によって違ったり、途中で変わったりすることがあるのだなと思います。これから様々な人と関わる中で、その時その人がどのようなことを必要としているか、また自分自身がどのように関わってほしいか、いつも考えながら過ごせたらなと思います。